


TOSHUN 2024

上半期レポート



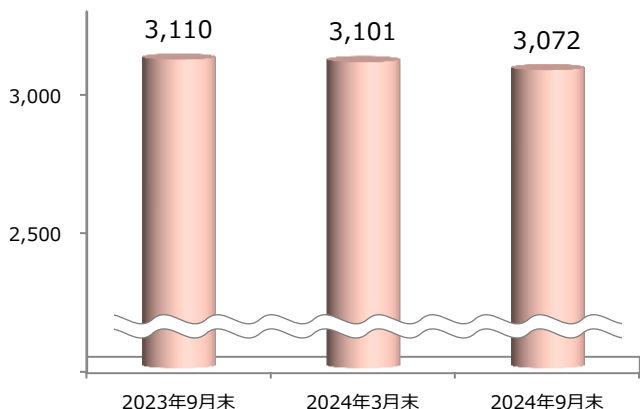
あなたと街のパートナー

 **東春信用金庫**

預金・貸出金の状況

預金

(単位：億円)

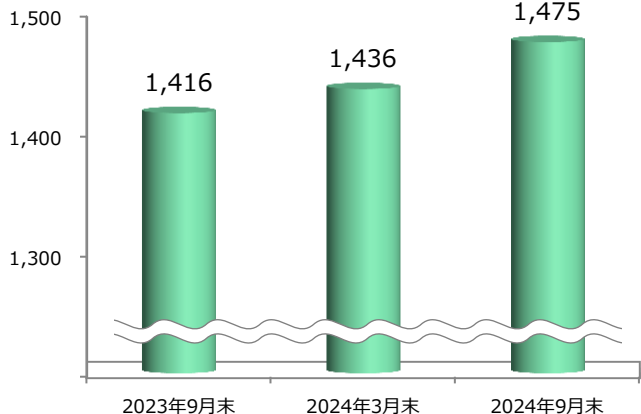


預金残高 3,072億円

預金残高は、年金受給先の預金など流動性預金を中心に一般預金は増加したものの、公金預金が減少した結果、前期末比28億円減少の3,072億円となりました。

貸出金

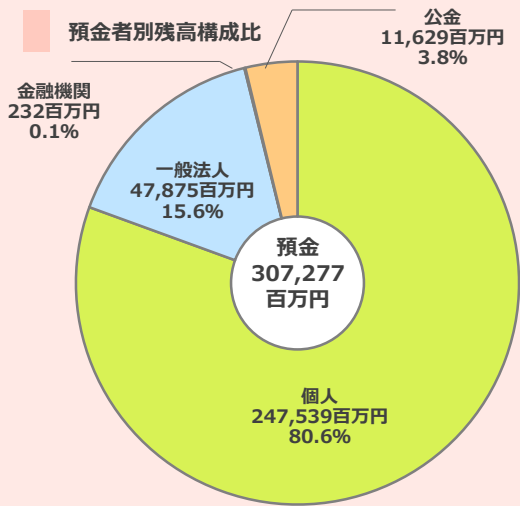
(単位：億円)



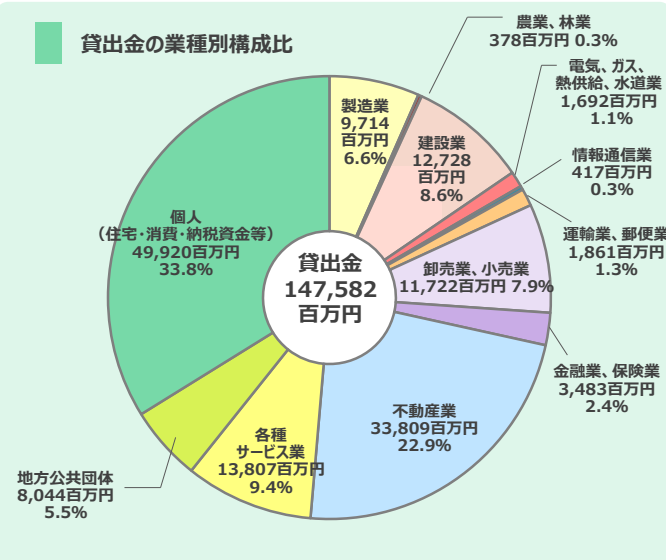
貸出金残高 1,475億円

貸出金残高は、中小企業の資金繰り支援、特にゼロゼロ融資終了後の支援に積極的に取り組んだ結果、前期末比39億円増加の1,475億円となりました。

預金者別残高構成比



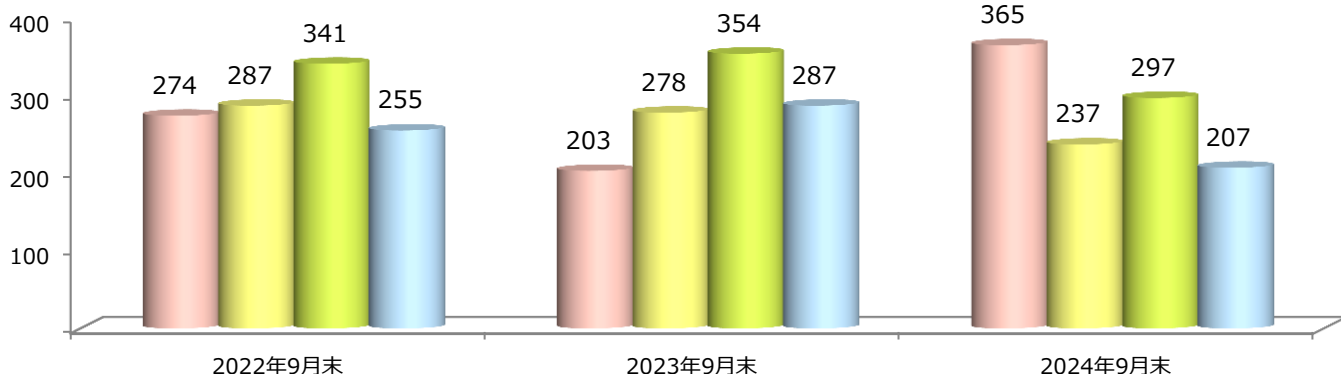
貸出金の業種別構成比



損益の状況

(単位：百万円)

■ コア業務純益 ■ 業務純益 ■ 経常利益 ■ 当期純利益



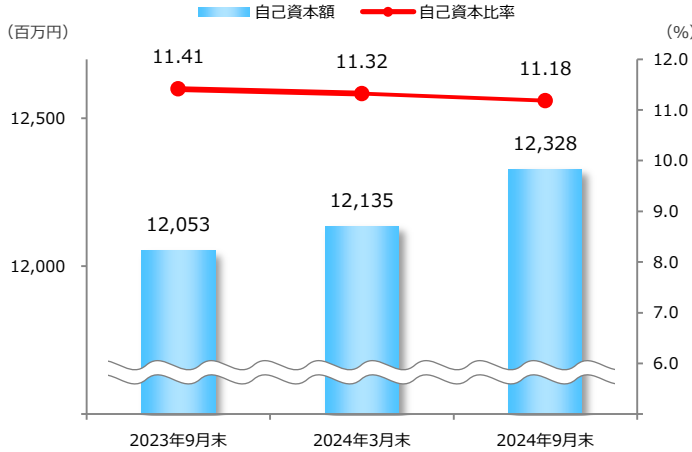
当期純利益 207百万円

日本銀行が利上げに踏み切るなど、日本の物価や金利が大きく変化する難しい経営環境でありましたが、積極的にお客さま支援や業務効率化に取り組んだ結果、コア業務純益365百万円、業務純益237百万円、経常利益297百万円、当期純利益207百万円を計上することができました。

自己資本の状況

事業性融資に積極的に取り組んだ結果、リスク・アセット等が増加し、自己資本比率は低下しましたが、自己資本額は前期末比1.9億円増加、自己資本比率も11.18%と健全性を維持しております。

自己資本額と自己資本比率の推移



自己資本の構成

(単位：百万円、%)

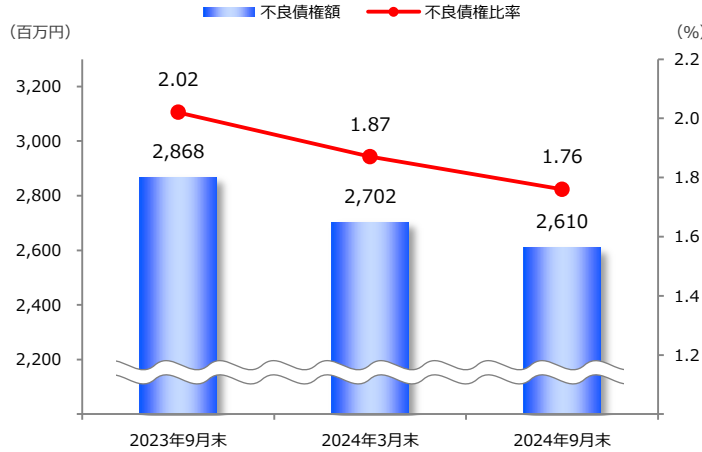
	2024年3月末	2024年9月末
コア資本に係る基礎項目の額 (A)	12,193	12,386
コア資本に係る調整項目の額 (B)	58	57
自己資本の額 (C) = (A) - (B)	12,135	12,328
リスク・アセット等の額の合計額 (D)	107,128	110,185
自己資本比率 (C) / (D)	11.32	11.18
信用リスクに対する所要自己資本額	4,038	4,161
オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本額	246	246
単体総所要自己資本額	4,285	4,407

(注)信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫がその保有する資産等に自己資本の充実の状況が適当かどうかを判断するために金融庁長官が定める基準に係る算式に基づき算出しています。なお、当金庫は国内基準により自己資本比率を算出しております。

不良債権の状況

不良債権額は前期末比92百万円減少の2,610百万円、不良債権比率は前期末比0.11ポイント低下の1.76%となりました。

不良債権と不良債権比率の推移



(単位：百万円、%)

	2024年3月末	2024年9月末
信用金庫法開示債権および金融再生法に基づく開示債権 (A)	2,702	2,610
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	512	499
危険債権	2,190	2,110
要管理債権	-	-
正常債権	141,078	145,078
合計 (B)	143,780	147,688
不良債権比率 (A) / (B)	1.87	1.76

開示基準 2024年3月末現在の金融再生法ベースの債務者区分に基づき、下記の方法による見直しを加えました。

- 見直し方法
- ① 全債務者について、2024年9月末残高で開示しています。
 - ② 2024年4月1日から9月末までの間に倒産、不渡等客観的な事実があった先について、債務者区分を変更しています。
 - ③ 2024年4月1日から9月末までの間に新たに3ヶ月以上延滞、条件緩和が発生した先について、債務者区分を変更しています。
 - ④ 上記①～③以外にも、新たに把握できた財務内容により、債務者区分を変更しているものもあります。

有価証券の時価状況

その他有価証券

(単位：百万円)

区分	2024年3月末					2024年9月末				
	貸借対照表計上額	取得原価(償却原価)	差額	うち益	うち損	貸借対照表計上額	取得原価(償却原価)	差額	うち益	うち損
株式	247	224	22	34	11	398	409	△ 11	17	29
債券	51,177	53,019	△ 1,842	197	2,039	47,608	49,689	△ 2,080	93	2,174
その他	25,663	26,938	△ 1,275	321	1,597	26,568	27,755	△ 1,187	315	1,502
合計	77,088	80,183	△ 3,094	553	3,647	74,574	77,854	△ 3,279	426	3,705

(注) 1. 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。 2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。

本資料に掲載している計数は会計監査人の監査を受けておりません。なお、単位未満は切り捨てて表示しております。

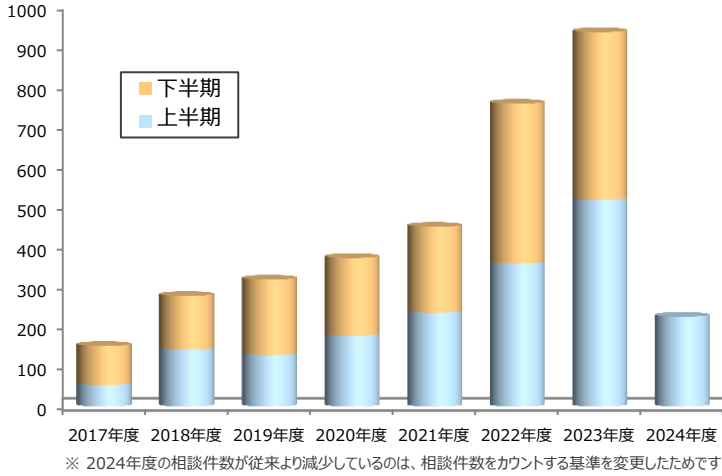
とうしゅん中小企業パートナーセンターの状況

当金庫では小牧、春日井、名古屋の3拠点に「とうしゅん中小企業パートナーセンター」を開設し、地域の中小企業経営者さまが抱えている様々な課題の解決に取り組んでいます。

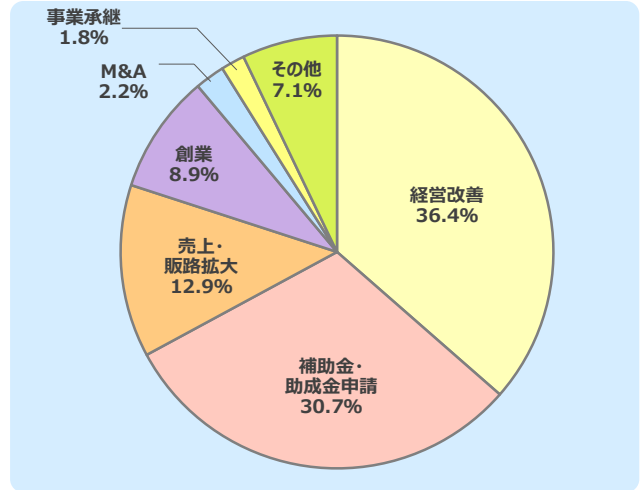
2024年度上半期の相談内容は **経営改善**、**補助金・助成金申請** や **売上・販路拡大**などの相談が中心となっています。

「とうしゅん中小企業パートナーセンター」では金庫職員による相談対応のほか、各種相談会の開催や、外部専門家と連携したご支援などのサポートを行っております。是非ご利用ください。

パートナーセンター相談件数の推移



2024年度のパートナーセンター相談内容内訳



とうしゅん創業塾

「とうしゅん創業塾」は創業準備から創業後まで一貫したサポートで皆様の夢を応援するプログラムです。

2011年より毎年開講しており、累計**359**名の方が修了されました。

修了者のうち**171**名の方が実際に創業され、各方面で活躍されています。

14期となる今年も40名の方が受講され、資金調達や、マーケティング、SNS活用のためのデジタルマーケティングなどを学び、創業計画の作成などに取り組まれています。



小牧市企業支援メニュー説明会

令和6年4月26日（金）に、小牧市、小牧商工会議所と共催して「小牧市企業支援メニュー説明会」を開催しました。

市の支援メニューは充実しているものの、情報量の少ない中小・小規模事業者では十分に活用されていない現状があります。

こうした事業所と取引のある近隣の金融機関や税理士事務所など50名の方にご参加いただき、積極的な情報提供を呼びかけました。

説明会では、小牧市の担当者が、「販路拡大」、「デジタル活用」、「人材確保」等、目的に応じた制度について、活用事例を交えて説明していただきました。



ディスクロージャー誌は、当金庫のホームページからご覧いただけます。

(ディスクロージャー誌の掲載ページ)

<https://www.shinkin.co.jp/toshun/disco/index.php>